

1. 開 会

○事務局(板倉)

ただいまから、富山水素エネルギー導入促進協議会を開催致します。

私は、本日の司会を務めさせていただきます事務局の板倉と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、初めての協議会設立総会でございますので、事務局にて議事を進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

2. 挨拶

○事務局(板倉)

それでは、開会に当たりまして、発起会社を代表して北酸(株)の山口社長よりご挨拶申し上げます。

○北酸の山口でございます。

本協議会の開催に当たりまして、発起会社を代表して一言、ご挨拶を申し上げたいと思います。

皆様におかれましては、お忙しい中、ご出席を頂きまして、本当に有難うございます。

昨年は、水素に大変注目が集まり、いわゆる「水素元年」と云われるほど日本中の関心が高まった年ではなかったかと思っております。

トヨタ自動車のMIRAIが発売されて以後、オリンピック・パラリンピックに向けて、東京を中心に100箇所の水素ステーション整備が進んでおります。

また、各地域においても協議会やプロジェクトが沢山開始されております。

北陸においては、昨年、構想から50年来の北陸新幹線が開通し一層の賑わいを見せております。

2020年、東京オリンピック・パラリンピックの目玉が水素社会でございます。

インフラの整備には、長い年月と多くの方々の協力が必要であることを実感しております。

より効果的な温暖化対策の取組が求められているところでございます。

このような中、国が示しておりますエネルギー基本計画におきまして、水素を本格的に

利活用する社会の実現に向けた取組を加速する方針が出されました。
本協議会におきましては、富山における水素ステーションの建設、水素社会実現に向けたビジョンを策定していくこと、また、富山らしいロードマップの策定を行っていくことを目指しております。
それに向けては、会員の皆様には、それぞれのご専門お立場からご意見、ご提言をいただければ幸いと存じております。

本日は、設立総会でもございますので、協議会の運営規約や役員のご承認のほか、中部経済産業局の竹内様と富山大学・水素同位体科学研究センター長の阿部教授のご講演を頂く予定でおりますので、どうぞよろしくお願い致します。

今後の皆様のご議論の参考にして頂ければ幸いです。
市民の皆様にもぜひお力添えをいただきますようお願い申し上げます、開会のご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございます。

○事務局(板倉)

有難うございました。

議事に入ります前に、お手元にお配りしました資料の確認をさせていただきます。

まず、協議会の次第、それから、資料－1 協議会の設立趣旨について
資料－2 協議会運営規約(案)、資料－3 協議会の組織体制について、
資料－4 今後のスケジュール、資料－5 (第二回)次回協議会開催通知
資料－6 会員名簿 その他、リーフレットや講演資料があります。

配付漏れがございましたら、事務局へお申し付けいただければと思います。

3. 議 事

○事務局(板倉)

それでは、早速、協議会の議事に入りたいと思います。

まず最初に、協議会の設立趣旨と協議会の運営規約(案)について、事務局から説明させていただきます。事務局宜しくお願いします。

○事務局(若木) 事務局の若木と申します。

それでは、協議会の設立趣旨と運営規約についてご説明させていただきます。

まず、「協議会の設立趣旨」についてご説明いたします。

先ほどのご挨拶にもありましたように、富山における水素エネルギーの利活用の推進を目的として、昨年 10 月に富山トヨタ自動車(株)、北酸(株)、日本海ガス(株)の3社が幹事会社となり富山における快適で豊かな水素社会の実現に貢献することを趣旨として発起致しました。

国においてもエネルギー基本計画及び水素・燃料電池戦略ロードマップを策定してございます。

このような中で、富山においても水素社会をどういうふうに形成していくのかということを話し合い地域として水素社会の取組を加速させるため、地域企業並びに行政様と一体となって、まずは、協議会を設置する運びとなった次第でございます。

富山における水素のポテンシャルや、地域が有する優位性や資源、技術を生かして産学官そして金が一体となって富山の水素社会の形成を目指していくというのが本協議会の設立の趣旨となります。

次に、「協議会の運営規約(案)」についてですが、昨年の12月に準備会合及びご入会に際して、ご周知させて頂いて参りました。

仔細は、お手元資料をご参照ください。

以上、ご提案させていただきます。

○事務局(板倉) ありがとうございます。

この件について、ご質問、ご意見等がある方は、挙手の上、お願いいたします。

○事務局(板倉) なければ、設立趣旨及び運営規約(案)については、ご承認させて頂くということでよろしいでしょうか。

(異議なし)拍手

○事務局(板倉) ありがとうございます。

それでは、決定させていただきます。

○事務局(板倉)

次に、運営規約に基づきまして、会長、副会長を選出したいと思います。

規約第4条で、会長、副会長は会員の中から互選となっております。

昨年の12月16日準備会合にて、ご提案させて頂きましたが初年度でもあり設立発起会社の中から会長に、北酸(株) 山口 昌広 社長

それから、副会長につきましては、2名選出し

富山トヨタ自動車(株) 品川 祐一郎 社長

日本海ガス(株) 新田 八朗 社長

にお願いできればと思います。

また、幹事会社におきましても発起会社の北酸、富山トヨタ自動車、日本海ガスの3社で進めたいと思いますがいかがでございましょうか。

(異議なし)拍手

○事務局(板倉) ありがとうございます。

それでは、山口社長、品川社長、新田社長におかれましては、どうぞよろしく申し上げます。

拍手

○事務局(板倉)

役員が決まりましたので、次第に基づき協議会の議長の選出を行いたいと思います。

議長には、富山大学経済学部長でいらっしゃいます中村和之教授にご依頼したいと思いますがいかがでしょうか。

異議なし(拍手)

○事務局(板倉)

それでは、中村教授におかれましては、どうぞよろしく願いいたします。

中村教授 ご挨拶を頂けますでしょうか？

○中村教授

只今、議長を仰せつかる事になりました。富山大学経済学部の中村でございます。

水素エネルギーの導入促進ということでございまして、技術的な課題はほぼクリアされているのではと思います。今後社会にどのようなシステムとして利活用を促進する仕組みを作っていくかということだと思います。一企業様、一団体様の取組だけでは、やはり限界があることは確かだろうという風に考えております。このような中で、富山の地においてどのような将来像、ビジョンを作っていくか、皆様の活発なご議論のうえで取組んでいけば大きな成功を収めることができると思います。

不慣れではございますが、今後とも宜しく申し上げます。

○事務局(板倉)

ありがとうございました。これにて役員選出、組織について決定いたしました。

○事務局(板倉)

それでは、最後に今後の取組みについて事務局よりご説明します。

○事務局(若木)

それでは、今後の取組みについてご説明させていただきます。

協議会としましては、まず、情報の共有化と地域への発信ということでございます。

一つは、富山の水素社会実現ビジョンの策定ということになります。

このビジョンはどのようなものかといいますと、県内の地域特性を生かした富山の水素社会のあり方ということでございます。

サプライチェーン、国内の動向、市場予測、などを踏まえて、富山の水素社会実現ビジョンとして取りまとめるということでございます。

また、ビジョンを踏まえた具体的な導入構想の策定でございます。

いわゆるロードマップを策定し具体的な方策の検討等を行っていきたいと考えています。

この中で、水素ステーションの導入検討も行うということになるかと思えます。

皆様には、それぞれのご専門お立場からぜひご協力を頂きたいと考えております。

協議会会期は、12月までを1期として3回の協議会とフォーラムの開催、先進地の視察(福岡)を行いたいと考えています。

以上でございます。

○事務局(板倉)

どうもありがとうございました。

ただいまの協議事項について、何かご質問等があればお願いいたします。

いかがでしょうか。

よろしゅうございますか。

○事務局(板倉)

ありがとうございます。

それでは、ただいまの案のとおり進めていくことにいたします。

どうもありがとうございました。

4. 次回開催通知

○事務局(若木)

次回協議会は、3月24日に県民会館での開催を予定しております。
ご案内を同封しております。ご参加のほど、よろしく申し上げます。

5. 閉会

○事務局(板倉)

議事は、以上です。

それでは、閉会にあたりまして幹事会社を代表して富山トヨタ自動車(株)品川社長より一言申し上げます。

○品川社長

皆様本日は、大変ご多用のところ富山水素エネルギー導入促進協議会、設立総会にご出席を賜りまして誠に有難うございます。

只今、副会長に選任頂きました富山トヨタ自動車の品川でございます。

発起幹事会社を代表しまして一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

私どもトヨタグループは、MIRAIを発売して約1年となりますが国内累計3400台の受注を頂いております。3年近い納期となっております。

日本政府もエネルギー基本計画の中で2020年の東京オリンピックの開催に向けて、四大都市圏を中心に水素社会の実現を目指すということで自動車各メーカーも協力して前進をしている状況です。

先ほどのお話にもありましたが理論上では使用段階でCo₂を排出しない究極のクリーンエネルギーであり、エネルギー安全保障の観点からみても注目されるエネルギーであります。現実の取組においては、水素ステーションの普及であり確実に進んでおり先日名古屋に出張した際も燃料電池タクシーが走っておりました。写真で撮りました。

故郷富山の地においても一日も早い水素社会・水素ステーションの導入が期待されます。志を一にして頂ける皆様にご参集いただけたと思っております。

国内研究機関では、2030年に普及期が来ると予測しております。

トヨタグループでは、2050年には2台に1台は燃料電池車が普及していると予測しています。皆様の力を結集して日本海側に将来の国家・環境に貢献できる水素社会の実現を図って参りたいと思っております。最後になりましたが、本日お集まり頂きました皆様の益々のご発展を祈念いたしまして閉会の挨拶とさせて頂きたいと思っております。

○事務局(板倉)

以上をもちまして、富山水素エネルギー導入促進協議会を閉会します。

どうもありがとうございました。

以 上

基調講演 15:30～

○事務局(板倉)

それでは、基調講演に入りたいと思います。

第一部として、経済産業省・中部経済産業局 資源エネルギー環境部 ガス事業課長

竹内 勝美 様より

「水素社会の実現に向けて」のご講演をお願いいたします。

○講演 1 中部経済産業局 竹内課長

15:30～16:20

○事務局(板倉)

竹内様、有難うございました。

ご質問のある方、挙手にてお願いいたします。

今一度、盛大な拍手をお願い致します。

有難うございました。

休憩

○事務局(板倉)

それでは、第二部に入りたいと思います。

第二部は、富山大学水素同位体科学研究センター長 阿部孝之 教授より

「水素の利活用研究について」のご講演をお願いいたします。

○事務局(板倉)

阿部様、有難うございました。

ご質問のある方、挙手にてお願いいたします。

今一度、盛大な拍手をお願い致します。

有難うございました。

皆様、長時間お疲れ様でした。

それでは、本日の総会及び基調講演を終了いたします。

有難うございました。

尚、懇親会にご出席の方は、2階 春日の間にて行いますのでよろしくお願いします。
懇親会 17:00頃～18:00頃まで

○事務局(板倉)

ただいまより、富山水素エネルギー導入促進協議会の懇親会を開催いたします。
開会に先立ちまして、会長よりご挨拶申し上げます。

○山口社長

ご挨拶

○事務局(板倉)

有難うございました。

それでは、乾杯のご発声を日本海ガス(株) 新田社長より頂戴したいと思います。
新田社長 宜しくお願ひ致します。

○新田社長

乾杯のご発声

○事務局(板倉)

宴たけなわではございますが、ここで中締めをしたいと思います。
協議会の議長をお願いしました富山大学 中村教授から宜しくお願ひ致します。

○中村教授

一本締め

本日は、本当に有難うございました。